資料－4

減災のための目標（案）

高津川水系における水害の特徴

①高津川と匹見川の洪水のピークが重なりやすく、急激な水位上昇が発生する。
下流部の益田市街地は低平地に形成されており、高津川の氾濫により多数の家屋が浸水する。
また、上流部では沿川の平野部で農地や集落が点在しており、一旦、氾濫すると孤立化する恐れがある。

→**早めの避難勧告等の発令が必要**

②氾濫域に主要な道路が整備されているため、一旦、浸水してしまうと交通網がマヒし、水防活動に支障が生じる。

→高津川水系の**氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動が必要**

③氾濫域には多くの人口・資産、行政・医療機関、鉄道といった重要な施設が多数あり、また、上流部は氾濫すると点在する集落が孤立することから、一旦、浸水してしまうと住民生活への影響は甚大。

→浸水を早期に解消するための**効率的な排水対策が必要**

氾濫特性を踏まえた、適切な目標と取組方針の設定が重要

減災のための目標（案）

●5年間で達成すべき目標

急激な水位上昇などの河川特性や氾濫水が広範囲に広がる平野部等の氾濫特性などを踏まえ、発生しうる大規模氾濫時において、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す。

※大規模氾濫・・・・・想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫
※逃げ遅れ・・・・・立ち退き避難が必要なエリアからの避難が遅れた状態

■上記目標達成に向けた3本柱の取組

1．迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
2．氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動
3．浸水を一日も早く解消するための排水対策

○迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

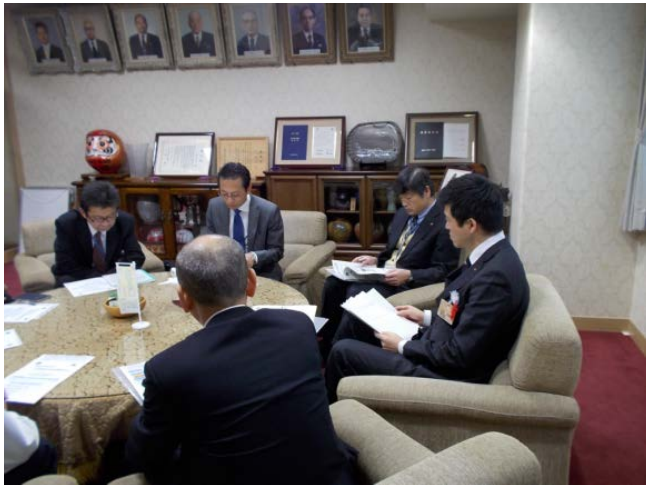
～情報伝達、避難計画等に関する事項～

トップセミナーの実施

■「避難を促す緊急行動」の一環として、益田市と出水時の対応について説明・情報共有を実施。

対象市町
・益田市
主な説明・情報共有事項
・出水時に河川管理者から各自治体に提供する情報と対応
・重要水防箇所、洪水に対してリスクの高い箇所等の再確認
・市長の避難勧告等の判断支援や、住民の主体的避難を促進するための取組みに関する情報の提供

【益田市との出水時の対応についての情報共有の確認状況】



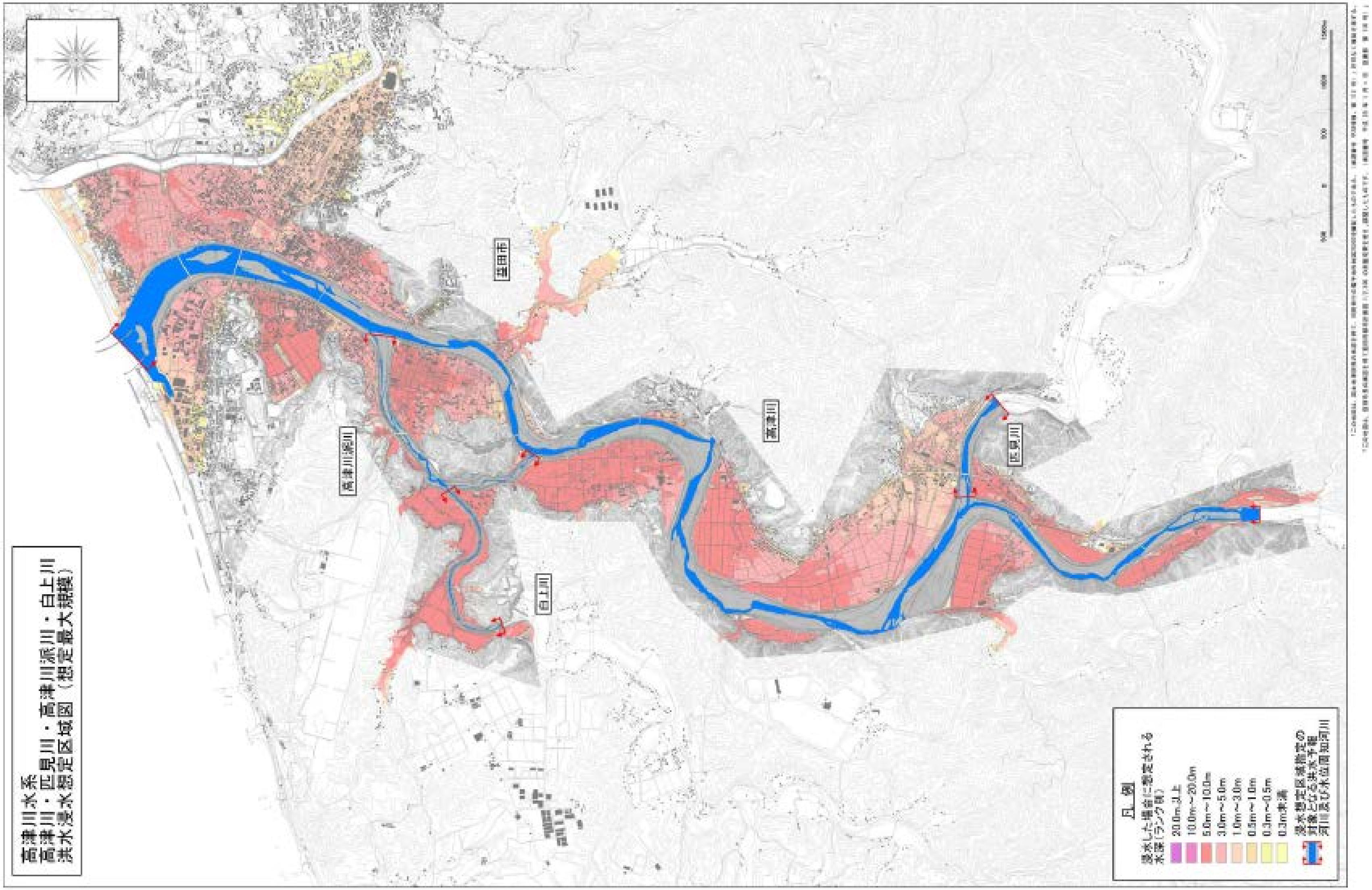
【益田市への説明状況】

○迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

～情報伝達、避難計画等に関する事項～

タイムラインやハザードマップの作成

■想定最大規模降雨による洪水の浸水想定を踏まえたタイムラインやハザードマップの作成に取り組む。



○迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

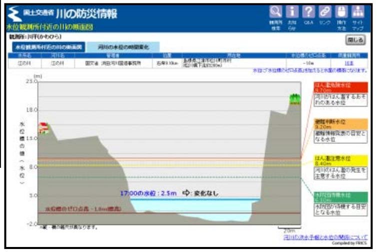
～情報伝達、避難計画等に関する事項～

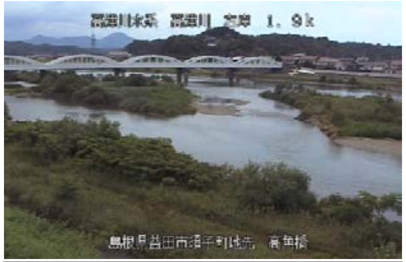
河川のリアルタイム水位等の提供

■沿川住民に対し迫り来る危機を認識させるのにはリアリタイムでの水位情報、映像情報が有効であり、その情報を提供することで住民の迅速な避難が可能となる。
　そのため、「洪水に対してリスクの高い箇所」の情報を関係機関へ提供するよう検討を行う。

避難の参考となる河川の状況（イメージ）

例：川の防災情報
（水位情報）





例：高水敷の冠水

例：益田市内冠水

雨の降り始め

0h　6h後　危険度　8h後　12h後　24h後

※時間軸はイメージ

～平時から住民等への周知・教育・訓練に関する事項～

堤防越水時の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開

■高津川から越水した流水の破壊力について、数値で示すより映像で示した方が直感的にわかりやすい。
　上記の状況のイメージ動画を作成・公開することで、堤防から越水した流水の破壊力について直感的な注意喚起を促す。

○氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

～水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項～

水害リスクの高い箇所の共同点検(現地確認)

■避難行動の理解を深めるため、高津川沿川の関係機関の方と一緒に、「洪水に対しリスクの高い区間」の共同点検(現地確認)を継続実施。

【益田市安富地区、横田地区、向横田地区】　地元自治会、消防団、益田警察署、益田消防署、益田市、国土交通省の担当者など21名が参加

【益田市内田地区、市原地区】　地元自治会、消防団、益田警察署、益田消防署、益田市、国土交通省の担当者など19名が参加

○浸水を一日も早く解消するための排水対策

～氾濫水の排水、施設運用等に関する取組～

大規模災害を想定した排水計画（案）の作成

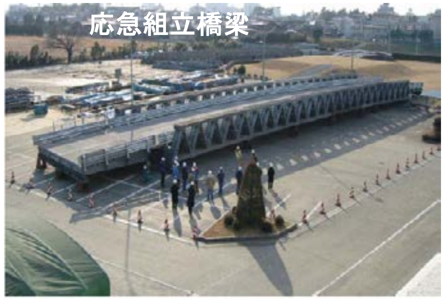
■過去の状況から想定される浸水箇所について、排水ポンプ車の設置位置や運搬ルートの確認等の総合的な排水計画を作成する。

排水ポンプ車排水訓練状況
(平成28年6月、高津川左岸（益田市高津町))

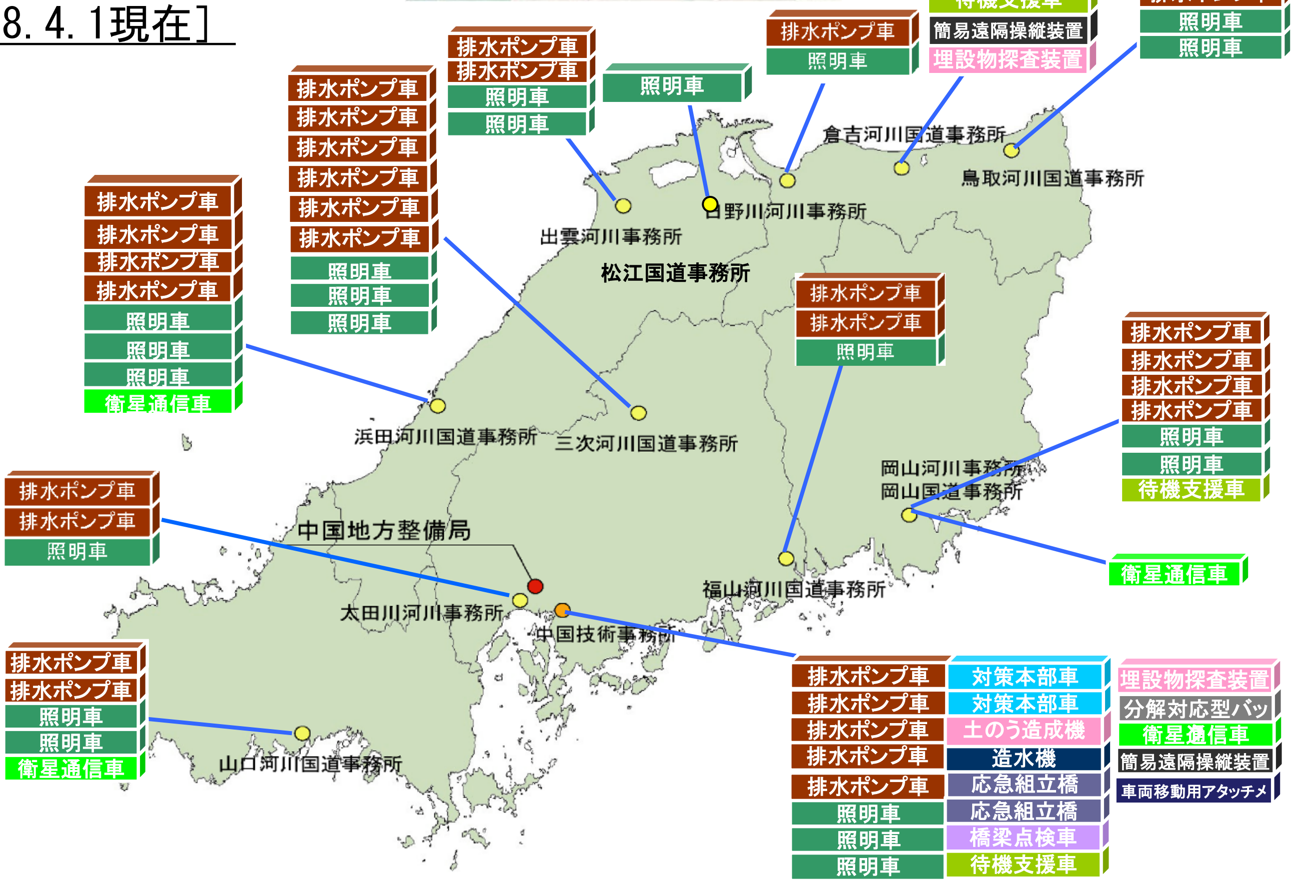
排水ポンプ車運転状況
（平成25年7月出水、南田川水門付近）

○浸水を一日も早く解消するための排水対策

■災害発生による支援態勢を確保し広域的な支援を継続実施。



災害対策用機械配備一覧［H28.4.1現在］

機　械　名	台数
対策本部車	3
排水ポンプ車	33
照明車	24
衛星通信車	5
土のう造成機	1
造水機	2
応急組立橋梁	2
橋梁点検車	2
待機支援車	3
遠隔操縦装置	2
埋設物探査装置	2
分解対応型バックホウ	1
車両移動用アタッチメント	2

計　82